

村上 松平 議員



(二括質問方式)

- ① 肱川堤防整備
- ② 防犯対策
- ③ えひめ国体
- ④ マイナンバー制度
- ⑤ 中国人観光客の誘致

肱川堤防整備について

問 今年、台風18号がもたらした大雨は鬼怒川を氾濫させ、その結果、堤防が決壊し死者を出してしまうという甚大な災害となった。

現在、肱川では菅田地区を中心に堤防整備の工事が進められているが、この堤防に使われている土

堤防整備が進められている菅田地区



について、堤防に水が浸透していき堤防そのものが破壊されるパイピング現象の心配はないのか。

答 菅田地区の堤防整備については、築堤に必要な土砂の大半を工区外から搬入する計画であると聞いています。

堤防整備に利用される混合土についても、土質試験の結果に基づき、基準に合格したものを利用しており、施工に当たっては、現場での徹底した品質管理を行い、堤

体漏水やパイピングによる法面の崩壊等が起らないように整備していると聞いています。

防犯について

問 今年も子供が犠牲となった事件や、お年寄りを狙った詐欺事件が後を絶たず、内容も悪質で巧妙な手口になっている。しかし、これらの事件は行政側の対応により未然に防げたものも幾つかあったはずである。

事件を未然に防ぐ、いわゆる防犯に関しての当市の取り組み方について、活動の具体的な内容をお伺いしたい。

答 ハード面における防犯対策については、防犯灯の設置、保守に対しての補助を実施しているところです。また、大洲地区防犯協会において、防犯カメラを犯罪被害の起きた場所や駐在所等に13台設置しており、犯罪被害の未然防止に効果があるものと考えています。

ソフト面における防犯対策については、啓発活動や講習会などの開催、新入学児童を対象に防犯ブザーや啓発物資を配布しています。さらに、たいき地区青色防犯パトロール隊連絡協議会が、青バ

トによる見せる防犯活動を展開しています。

中国人観光客の誘致について

問 今年、世間を騒がせた出来事の一つに中国人の爆買いがあったが、次からは観光を目的に日本に来る中国人が今後増えていくことが予想されている。

本市には、数多くの観光資源に加え話題性もあることから、これからの大きなマーケットとなる中国人観光客に対して、積極的な誘致活動を行い、大洲市観光の活性化につなげていただきたいと思うが、意見を伺いたい。

答 本市の外国人観光客数を伸ばしていくためには、地域の特色をPRしていくための検討や観光案内サインやパンフレットの多言語化、観光用アプリの充実などを進めていく必要があると考えています。また、観光施設関係者や宿泊施設関係者のスキルアップを図っていくことも、再訪してもらえるような環境整備につながるものと考えています。

今後においても、地元住民の歓迎やおもてなしといったソフト面も充実させ、環境づくりに努めていきたいと考えています。